

岐阜県の プラスチック

工業組合の平成12年度総会を開く。新事業に社会要請円滑化事業
「相互の連携で、苦況乗り切りを…」来賓が激励

日本ポリケム of 松岡久晴氏を招き、アジアの樹脂市場動向を聞く
組合青年部も総会開く。親睦研修では韓国企業を視察
射出成形技能検定は1級19人、2級45人の大量受検

事務局だより

賛助会員広告

新年度の事業計画や予算を承認した第32回総会



新事業に社会要請円滑化事業

工業組合とデザイン協の総会開く

人材高度化訓練事業は継続して実施

岐阜県プラスチック工業組合は、5月25日午後、岐阜市内にあるホテルグランヴェール岐山で『第32回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第38回通常総会』を開催した。工業組合の議題は①平成11年度の事業報告・収支決算②平成12年度の事業計画・収支予算③平成12年度の賦課金及びその納入方法について④平成12年度の取引金融機関及び借入金最高限度額の承認—など4議案で、いずれも原案どおり可決した。

なお、総会を記念し日本ポリケム(株)ポリオレフィン事業本部の営業統括GM松岡久晴氏を招き「2000年のアジア樹脂市場動向」について話を聞いた。(講演の要旨は6～7頁)

総会が夢多き業界のスタートに

通常総会は児玉副理事長の「プラスチック成形加工業界がこの苦況を切り抜け、夢多き業界になることを祈念したい」とする開会あいさつで始まり、続いて大松理事長が「上場企業の収益環境好転が伝えられているが、成形加工業界はIT(情報技術)産業向けを除いては、好転したという実感が出てきません」と前置きして次のようにのべた。

原料樹脂の値上がりは2年は続く

「いま成形加工業界が抱える課題は、原料樹脂の値上がりを克服することです。とくにポリスチレン、ポリプロピレンは急上昇し、食品包



社会要請対応円滑化支援事業などの新年度事業を決めた総会

装や容器部門は採算がとれず、ついに私どもの会社も製品価格の改訂を発表したところ。原料高の製品安に加え、リサイクル法完全実施によるコスト増加があり、その実情を代理店やユーザーの方々に訴えたのです。

「この6月は衆院選、成形加工業界は原料高やコスト高を克服する製品値上げを展開、社会も業界も暑い夏になりそう。樹脂原料の商社や

メーカーによると「今日の樹脂逼迫と価格上昇は今後2年は続く」といわれます。成形加工業界が希望するように、製品値上げが認められれば、収益環境はやっと整って明るさが出てくる

だろう。プラスチック業界は各産業ともつながり幅広い業界であるが、川上、川中、川下ともども立場を理解し合って、国のいう景気回復基調を受けとめていきたい」と呼びかけた。

新事業など事業計画、予算を可決

— 新年度の予算総額は特別事業を含め2,821万円 —

総会議事は最初に①平成11年度の事業報告、総額2,345万余円にのぼる平成11年度の決算、人材高度化支援事業特別会計533万余円の決算139万余円の剰余金処分②8項目、21事業にのぼる平成12年度の事業計画と総額2,195万円の事業予算、人材高度化訓練運営事業（100万円）と社会要請対応円滑化支援事業（526万余円）の2特別事業③平成12年度の賦課金及び納入方法④平成12年度の取引金融機関及び借入金最高限度額一の議案説明と審議の後、いずれも原案どおり可決した。

このうち平成12年度事業計画は、次のとおりで、新規事業の社会要請対応円滑化支援事業は国の支援事業で、全国中小企業団体中央会の決定を待って事業実施していく。

人材高度化で技術継承に取り組む

①指導教育事業は、国、県、中小企業団体中央会、各公社、その他産学官等の関係機関と連携を図りながら、組合員のための研修会、講演会、セミナーを積極的に推進していく。

②新しい技術の開発には、技能労働者の技能向上が不可欠なことから職業能力開発促進法の規定により『プラスチック成形射出成形作業』『プラスチック成型用金型製作作業』『プラスチックブロー成形製作作業』の技能検定を委託実施する。

さらに技能検定試験の合格率向上、検定試験の円滑な運営、受検者の安全を図るため、事前

に各検定職種の特別講習会を実施する。

③研修、講演会の実施。総会を記念し行う。内容は6～7頁に紹介。

④平成10年度から実施している人材高度化訓練運営事業は、新製品の開拓、製品の高付加価値化や事業の新分野展開を担える人材の育成を推進していく事業。具体的には雇用・能力開発機構が主催するAGネットによる能力開発セミナー等に積極的に参加する。

予定として10月13日から3日間開く「技術継承取り組み方法と効果的継承法の追及」と、13年2月19日に開く「プラスチック製品製造業における雇用管理等に関する講座」がある。

⑤プラスチック廃棄物処理検討委員会は、活動開始して3年目に入る。とくに本年度から容器包装リサイクル法が完全施行されたが、委員会としては、各自治体と共に環境保全と資源保護の観点から、回収システムや処理の方法を真剣に検討し、業界としてのイメージアップを図っていく。

⑥学卒者の雇用対策としては中小企業雇用促進PR事業を行う。工業高校をはじめとする各機関へ、若い有能な人材が来てくれるように要請する合同説明会を開催する。

視察見学会は名古屋で開くプラ展

⑦今秋11月11日から名古屋市・ポートメッセなごやで同時開催する『2000名古屋プラスチック工業展』と『環境ビジネス総合展・第2回ゼ



総会後に開催した懇親パーティー

ロエミッションフェア』に団体視察する。

⑧先端企業の視察研修は、9月下旬に廃プラスチック等のリサイクル施設を予定。

⑨昨年度に続きインターネットホームページ作成事業を行なう。中小企業情報創造発信強化支援事業の助成金を受けて行なうもので、既存の参加組合員のホームページ・リニューアルや、新規参加組合員のホームページを作成するなど内容を充実し、ビジネス交流の拡大を図っていく。

労働保険の事務代行をさらに促進

⑩情報提供事業は、例年どおり会報『岐阜県のプラスチック』を年6回発行し、組合員に必要な経済・業界情報を提供する。また、組合と組合役員・事務局との連絡を密にするため、理事会・役員会の協議決定事項などを会報記事として収集、提供する。

⑪共済事業は、組合員に必要な離型剤・薬品等の購入斡旋を行い、事業活動の効率化を図っていく。

また、市外電話および各種保険の特約店業務を実施し、併せて特約店による組合手数料の収入を図り、組合財政基盤の強化に役立てる。

⑫金融事業では県、政府系金融機関等が実施する運転・設備資金の融資および各種中小企業制度融資を組合員に周知し、組合員の希望に応じて制度の指導、斡旋、助言を行い、経営の安定に役立ててもらおう。

⑬事務代行業は、労働保険の事務委託事業（労働保険事務組合の認可済み）として、組合員に代わって業務を行う。また、労働保険未手続き事業所の適用促進を図る。

⑭調査研究事業としては、変化する社会環境の中で、適宜・適切な情報や施策を組合員企業に提供するため、組合会報記事の収集と並行して必要な調査及び情報収集を実施する。

⑮福利厚生面では組合間の親睦交流・連携を図る新年互礼会、組合員の健康づくり・親睦ゴルフ大会、慶弔見舞いなどを実施し、円滑な組合運営に役立てていく。

賛助会員と交流、活動の場広げる

⑯組合賛助会員制度の強化、拡充や組合員企業の技術開発及び営業活動の効率・安定化を図るため賛助会員を新年互礼会に招く。また、協力しあう活動の場を設けて交流するなど、協調を図っていく。

⑰県中小企業集団連合会の福祉活動に参加し組合員企業の福祉向上に役立てていく。

⑱隔月に定例役員会を開催し、組合事業活動のチェック、当面する組合事業の処理、役員間の情報交換を実施し、円滑な組合運営をめざしていく。

⑲新規特別事業の社会要請対応円滑化支援事業は、全国中小企業団体中央会の助成事業で、ヒヤリングを受けた後、7月には決定する見通し。支援事業を機会に、企業ぐるみで廃棄物の削減や適切管理に取り組み、業界ぐるみで「樹脂の分別回収と再資源化を図るシステム」づく

りを行う。

プラスチックデザイン協会も総会 講習会や研修会などへの参加

工業組合の総会に続いて岐阜県プラスチックデザイン協会も通常総会を開き、平成12年度の事業計画と予算を決めた。

年間予算は20万円で、事業は①デザイン講習会1回②デザイン関係の資料配付、年間2～3回③岐阜県デザイン振興会主催の各種デザイン関係の研修会、講習会、セミナーなどへの参加などを予定している。

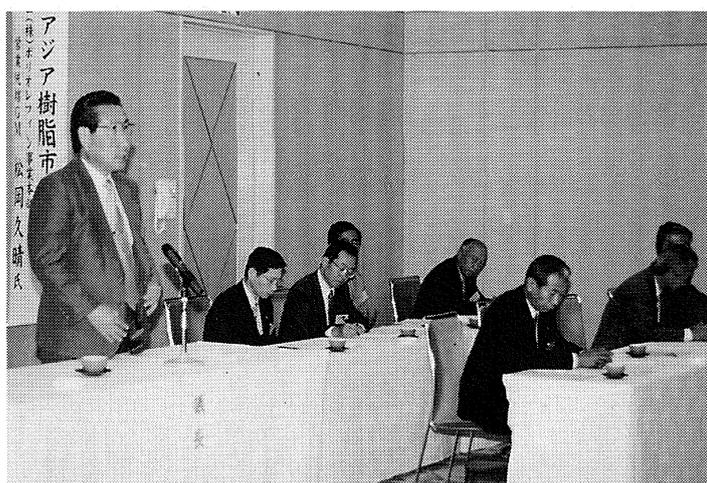
「相互の連携や補完で苦況乗り切りを…」 高木・県経営指導課長ら来賓が組合員を激励

工業組合は総会に県関係者ら多数の来賓を招いた。このうち高木巧・県農林商工部経営指導課長と森本安彦・県中小企業団体中央会専務理事の二人から激励の祝辞をうけた。

高木経営指導課長は「事業活動を通じて業界の限らない発展を期待している」とのべた後、「中小企業を取り巻く環境はいぜん厳しく、プラスチック業界も多分にその影響を受けておられるが、創意と工夫、相互の連携を図りながら技術革新や販路の開拓、環境対策に取り組んでもらいたい。県としても中小企業融資制度の充実、中小企業者の創業・技術革新への支援、経営に関する診断・指導を行なう支援センターを岐阜県産業経済振興センターに開設するなど、種々の振興対策を進めているので積極的に活用していただきたい」とする新家武彦商工局長のメッセージを代読した。

続いて森本中央会専務理事は「中

小企業基本法の抜本改正で中小企業の範囲が拡大、製造業の資本金は上限を1億円から3億円に引き上げられた。新しい定義により全国1万5千社が中小企業の仲間入りし、全国約5百万社にのぼる中小企業に、新たな活動が期待されている。中央会ではこの基本改正法を機に①海外企業と直結する戦略②企業内ベンチャーの育成③IT産業の育成④経営資源の相互補完——を4本の柱とし、県内中小企業団体の指導・育成事業を展開することにした」と話した。



あいさつする来賓と来賓席

松岡久晴氏を招き記念講演

カギは原油と欧州企業の動き

2000年のアジア樹脂市場動向を聞く

工業組合は、ホテルグランヴェール岐山で通常総会を開いたが、それを記念して日本ポリケム(株)ポリオレフィン事業本部営業統括部の松岡久晴・営業統括グループマネージャーを招いて『2000年のアジア樹脂市場動向』をテーマに講演してもらった。

日本ポリケムは東燃化学(株)と三菱化学(株)が合併した新しい会社で、講師は同社の主力製品であるポリオレフィン(ポリエチレン、ポリプロピレン)事業の企画調査、とくに樹脂メーカーとしての方向を探ってきた人。次は2000年のアジアにおけるポリオレフィン樹脂の市場動向と企業の動きについての講演要旨。(文責・組合事務局)

北米に迫るアジアのマーケット

いま、アジアの樹脂市場動向が注目されるようになってきたのは、アジアの市況が日本国内の市況に大きく影響しはじめたからだ。このためアジアの樹脂価格動向が大きく報道されたり、樹脂製造プラントの建設が大きな話題として取り上げられている。

現在、世界の樹脂マーケットは北米が年間2200万ト、ヨーロッパが1700万ト、日本と中

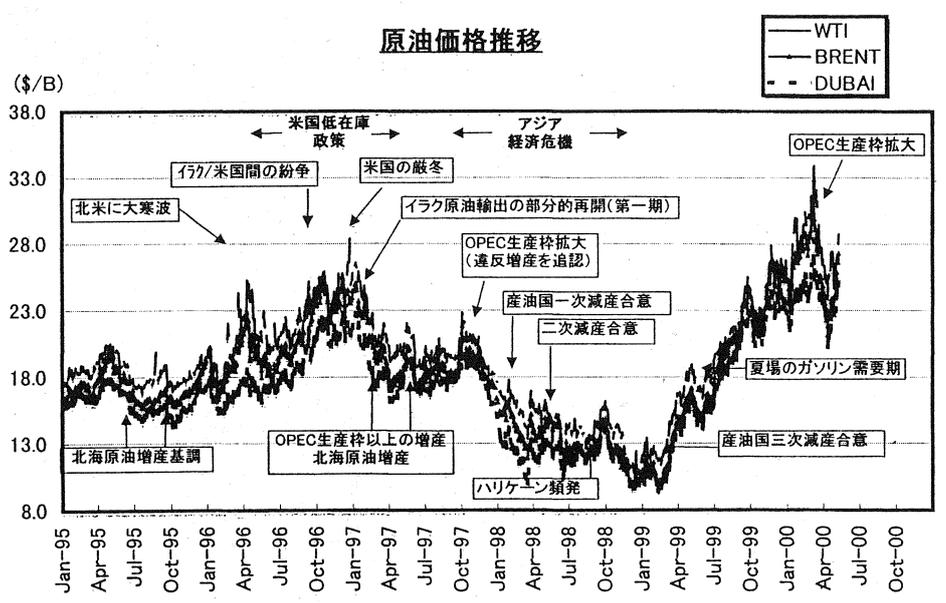
国などアジア、パシフィックを合わせると北米と肩を並べる。これは98年の実績であるから、成長著しいアジアの需要はむしろ北米を上回るといえる。したがってアジア市場の動きは、世界の樹脂価格を左右するといっても過言ではない。すでに欧米企業はこのアジアにターゲットを定め、拠点を増強したり、製造プラントの建設を進めている。

樹脂価格を決める要因には①原油・ナフサの動向②アジア経済の成長③中国の需給動向

④米国の景気⑤日本の輸出余力⑥韓国の販売姿勢⑦増設プラントの状況⑧欧米企業の動向——をあげることができる。

原油やナフサはタイト化の様相

原油・ナフサの動きを第一番に取り上げたのは樹脂の主原料がナフサで





市場動向で講演する松岡さん

のレジンメーカーが需給バランスを取る必要からアジアへ輸出していることで、その輸出量は生産の10%ぐらい。近年は非効率プラントの停廃止、一方では景気の回復基調でアジア輸出は一時期より減りつつある。

あることから当然、石油・ナフサの価格が樹脂価格に直接影響するからである。原油価格の動き（前頁のグラフ）を見ると、98年に1バレル当たり10ドルを割っていたが、三次にわたった産油国の減産合意によって逆に高騰を続け、今冬には30ドルを超える高値を生んだ。今日では小康状態にあり、オペック各国は22～28ドルでコントロールしようとしている。またナフサは中東やアジアで増産傾向にあるものの、1トン当たり230～280ドルで推移、タイト化は間違いない。

アジア経済の成長、とくに中国の需給と成長の動向は、樹脂価格を大きく左右するだろう。アジア経済は日本とは異なり、本格的な回復期に入っており、とくに中国市場は日本市場に匹敵する年間4～5百万トンを持続、減少することはないといわれる。

米国は国内景気が悪くなると、樹脂を大量輸出し、アジアの価格を変動させている。米国産の樹脂は内需の好調さと中南米とカナダへの輸出があるので、当面はアジアへの輸出は少ないと見てよい。アジアで作った樹脂製品は相当量米国へ輸出されている事実も見逃せないものがある。

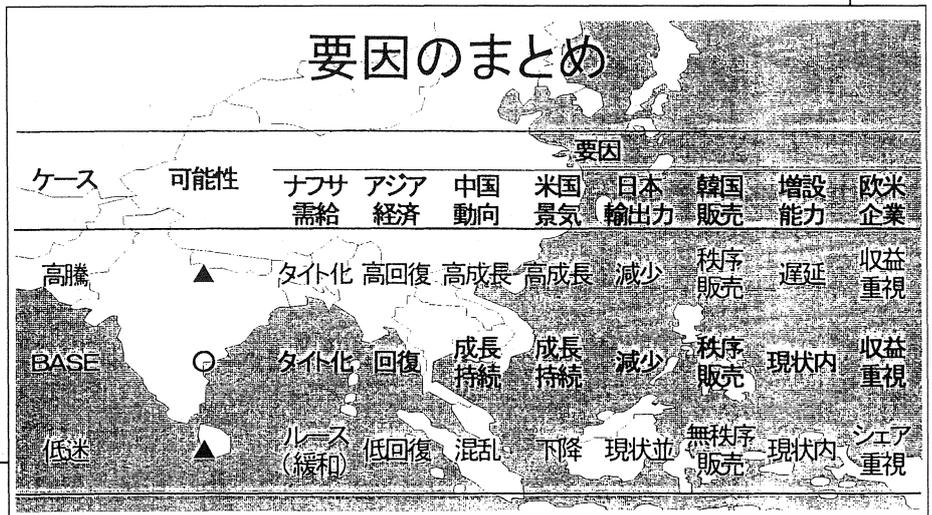
日本の輸出余力は、日本

韓国の販売姿勢が問題なのは、生産の半分を輸出しないとプラントの稼働が保たれないからだ。最近では秩序ある販売が叫ばれ、さらにはアジアにおけるプライスセッターとしての自覚が出るなど、様変わりしてきている。

競争力を高める以外に道はない

増設プラントの価格動向は、今年、シンガポールにエクソン・モービルのエチレンプラント（80万トン）が稼働するのをはじめ、インド、台湾、タイ、マレーシアなどでも新增設（2カ年で約200万トン）が相次ぎ、樹脂価格を下げる大きな要因になるだろう。

下の表は8つの要因をまとめたもので、2000年の価格動向はナフサがタイト化したとしても、ベースでいってもらいたい。ポリオレフィン事業は日本も世界も大きく再編が進み混沌としており、打ち勝つには一層の設備統廃合で、競争力を高める以外に道はない。



隔月に研修事業行う

親組合の事業に積極参加
青年部の新年度事業計画

工業組合の青年部は5月13日、岐阜市内のホテルグランヴェール岐山で篠田治部長ら部会員27人が出席して第19回通常総会を開き、新年度の事業実施計画を決めた。

新年度の活動目標は『次代を背負うリーダーとしての自覚を持ち、時代のニーズに応じた研修、自己啓発、情報交換、部員相互の親睦を図り、さらに親組合への事業協力をしていく』に置き、次の事業を実施していく。

事業は隔月に行うことにしており、7月は研修会、9月は親睦研修旅行、11月と平成13年3月は講演会、平成13年1月は新年互礼会として開催するほか、親組合が実施する事業に積極的に参加していく。年間の事業予算は272万円を予定し、会費、親組合からの助成金である。

韓国の凡一エンジニアリング

青年部が9月に海外視察旅行

青年部が9月に予定する研修旅行は、韓国の企業を視察する。視察先は韓国・ソウル郊外の中清南道牙山市にある凡一エンジニアリング会社。情報機器関連のプラスチック成形工場をも

ち、近年は半導体のパーツを生産するベンチャー企業である。同社の好意で生産工場を見学させてもらうほか、韓国企業の経営者の考え方や韓国の産業経済動向について話を聞くことにしている。

岐阜労働局がスタート

総合的な労働行政を推進

国と地方公共団体の役割分担の見直しの一環として、4月1日から労働省の地方機関である岐阜労働基準局、岐阜県職業安定課・雇用保険課、岐阜女性少年室が統合し、総合的な労働行政の推進をめざす『岐阜労働局』としてスタートした。これまでの労働基準監督署、公共職業安定所の組織や業務は変更がない。労働保険料の申告納付等については岐阜労働局総務部内の労働保険徴収室で取り扱う。岐阜労働局設置後は当面、分庁舎方式となり、所在地、配置部門は〈金竜町庁舎〉

〒500-8723 岐阜市金竜町5丁目13番地

岐阜合同庁舎3階（配置部門は、総務部・労働基準部）

〈金町庁舎〉

〒500-8842 岐阜市金町4丁目30番地

明治生命岐阜金町ビル3階（配置部門は、職業安定部・雇用均等室）

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE®

合成ゴムSBR

住友SBR®

合成ゴムEPR

エスブレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

ハイテク時代にふさわしく多い受検者

技能検定・1級19人、2級45人の合計64人

工業組合は能力開発協会から『プラスチック射出成形技能検定』を受託、実施しているが、今年度は6月12日から3日間『特別講習会』を開催し、続いて6月19日から7月10日にかけての16日間、実技の『技能検定試験』に入る。

会場はいずれも岐阜県製品技術研究所の、3階講堂と成形機のある1階高分子加工実験場で行なう。

1級新規受検者は過去最高を記録

今年度の受検者は、1級が実技だけ6人、学科と実技が13人、2級が学科だけ26人、実技だけ3人、学科と実技が42人。このうち実技検定を受ける人は1級19人、2級45人の合計64人。これは昨年度の実績を上回り平成7年度、平成6年度に続く過去3番目の大量受検となった。とくに1級受検資格者（2級合格後5年を経過した人、また12年以上の実技経験を持つ人）が増加しており、1級の新規受検者が過去最高になっている。ハイテク時代にふさわしい技能検定試験になりそうだ。

クレーンや成形機の操作を重点に

技能検定に先立って行なう講習会は、第1日が①技能検定の受検対策とその傾向②成形材料とその射出成形条件③成形不良対策④射出成形機の取り扱い⑤学科の模擬試験⑥受検日時と使用機種（日精と住友）の公開抽選を予定。

第2日は①成形機の取り扱い②学科の模擬試験結果と対策③クレーン講習を含む射出成形機の取り扱い実習。第3日は終日、クレーン講習を含む射出成形機の取り扱い実習を行なう。

実技試験の最近の傾向として、機械操作の不慣れによるトラブルや、時間オーバーによる作業中止が目立つことから、クレーンを含む射出成形機の取り扱い説明と実習に重点を置く。

実技検定後の採点は、7月17日から3日間、製品技術研究所で行なう。学科試験は8月27日（日）に全国统一して行なわれ、合格者発表は10月6日（木）の岐阜県公報に掲載、合格者にも通知される。

実務研修の受講者募集

雇用・能力開発機構の2施設

雇用・能力開発機構のポリテクカレッジ岐阜（揖斐郡大野町、職業能力開発短期大学校）とポリテクセンター岐阜（土岐市泉町、職業能力開発促進センター）は、平成12年度中に行なう『従業員実務研修』の受講者を募集している。

能力開発のための研修事業を実施することにより、実務能力の向上を図り、中小企業の人事・労務管理の充実に資するのがねらいで、工業組合が加入している県中小企業集団連合会が研修費用を負担する。

研修コースは年度末までポリテクカレッジ岐阜では旋盤、フライス盤、NC旋盤などの機械系、接点リレー、PC制御など制御系を中心に130コース。ポリテクセンター岐阜ではパソコンCADなど機械系、制御系、成形加工系、情報・通信系など102コースと多彩。

申し込みは集団連合会が随時受け付け、定員は10～15人程度で、出張講習の方法もある。詳細は工業組合か、県庁労働雇用課内の県中小企業集団連合会事務局（058-271-6877）まで。

廃棄物処理、企業に責任

「循環型社会形成推進基本法が成立」

産業廃棄物を減らし再利用の徹底と方策などを定めた『循環型社会形成推進基本法』と『改正廃棄物処理法』が成立した。

循環型社会形成推進基本法は、生産者の回収責任などの理念を定めたもので、資源の消費を抑え環境への影響が少ない「循環型社会」を構築するのが目的で、実現に不可欠な基本原則を規定している。具体的には廃棄物の発生を抑制することを最優先とし、発生した廃棄物をそのままもう一度使う再使用、さらには原材料としての再生利用など、廃棄物の適切な処理方法の優先順序を明記している。政府は、2003年までに循環型社会を形成するための具体的な方策を盛り込んだ「循環型社会形成推進基本計画」を作成する。

廃棄物処理法では原状回復責任を

廃棄物処理法では、廃棄物を排出する企業の責任を強化、廃棄物が適正に最終処分されたかどうかの確認を怠った場合は、廃棄物を回収し処分前の状態に戻す原状回復の責任を負わせるとしている。悪質な処理業者をなくすため、暴

力団が関与していたり、業者が資金不足に陥ったりした場合は事業の許可を取り消すこともできるようにした。また、処分場が不足していることなどを踏まえて、処分場設置促進や、都道府県に廃棄物の減量計画づくりを義務付けることなども盛り込んでいる。

年間の総労働1918時間

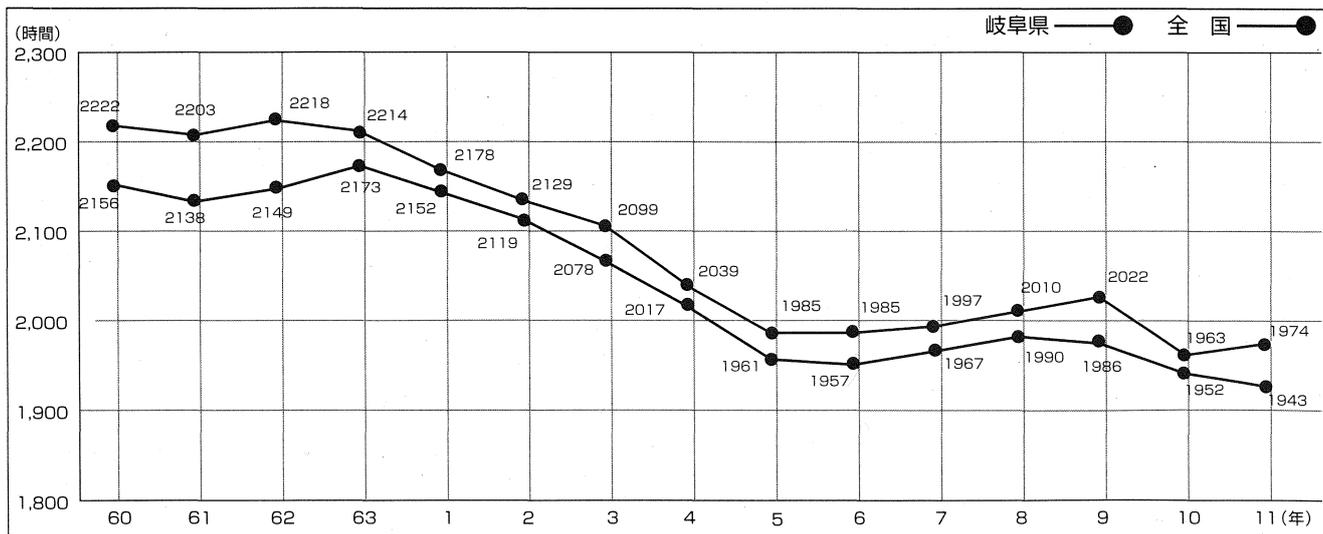
「全産業の平均、全国より24時間多い」

岐阜県内全産業（従業員30人以上）の平成11年1人当たり年間総労働時間は、1918時間（全国平均より24時間多い）で、前年に比べ10時間の減少にとどまった。このうち所定内労働時間は1783時間と前年に比べ3時間減少し、所定外労働時間は7時間減少した。県内産業の年間総労働時間は、昭和62年以降平成6年まで減少を続け、平成7年、平成8年と増加したが、平成9年から再度減少に転じた。また、全国平均の年間総労働時間は平成11年は1842時間で、平成10年に比べ37時間減少した。

県内の産業別に見た年間総労働時間は、運輸・通信業が2165時間が最も長く、次いで建設業2144時間、製造業は1974時間の順であった。

一方、金融・保険業は1762時間で最も短く、次いで卸・小売業、不動産業の順であった。

製造業における年間総労働時間の推移



事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□総会への出席ありがとうございました□

平成12年度の事業計画などを決める第32回通常総会への出席、ありがとうございました。議事内容は2～5頁に紹介しましたが、年間の事業、予算とも原案どおり可決していただきました。実施に当たりましては、より充実した内容とし、進行していきますので、一人でも多くの参加と協力をお願いいたします。

□23日に職業生活と年金をテーマに講演□

岐阜高齢期雇用就業支援センターは、6月23日午後1時30分から、県民ふれあい会館で職業生活設計支援セミナーを開催します。内容は社会保険労務士・吉田さよ子氏の講演で「職業生活と年金」をテーマに、高齢就業の大切さについて話されます。

受講希望は組合事務局か高齢期雇用就業支援センター（TEL058-263-4577、FAX058-263-4584）へ申し込んでください。

□従業員実務研修の受講料はおりません□

従業員実務研修の案内書を送りましたが、プラスチック成形加工業界にとっても有効な研修項目は数多くあります。受講料は通常なら2000～9000円程度かかりますが、今年から集団連合会の全額負担です。今一度、ご検討ください。

岐阜県のプラスチック 2000年 第153号

平成12年5月31日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

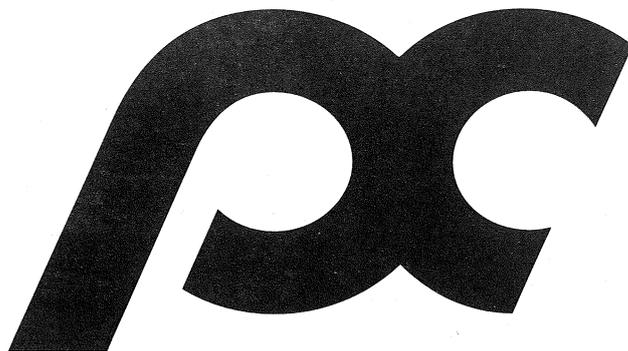
FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 高坂 貞夫

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOVATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

高密度ポリエチレン	ノバテックHD
低密度ポリエチレン	ノバテックLD
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックLL
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックC6
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂	ノバテックEVA
ポリプロピレン	ノバテックPP

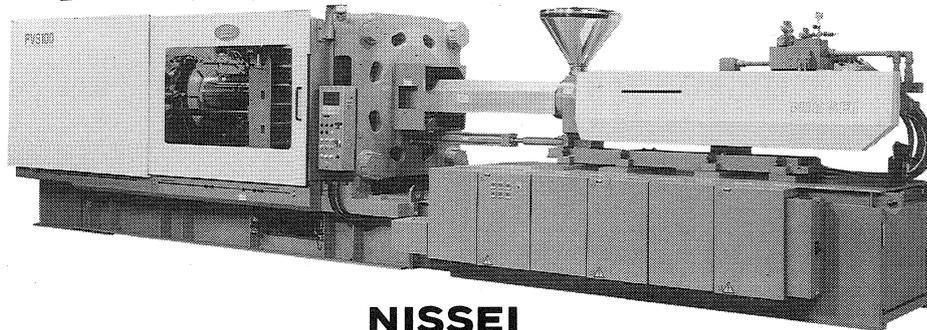
NOVA 日本ポリケム株式会社

東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 千100
TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-6040

時代を創る 時代に応える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機
FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所／愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568)75-9555(代)

■岡崎出張所／愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎(0564)52-1430 ■三重出張所／三重県津市神戸横田203-4 ☎(059)224-0716

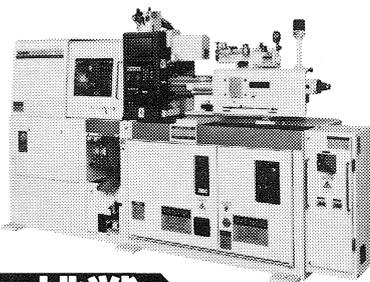
■本社・工場・研究開発センター／長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター／本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所/全国11カ所／出張所/全国19カ所 ■海外サービスステーション/28カ所

●http://www.nisseijushi.co.jp

MEIKI

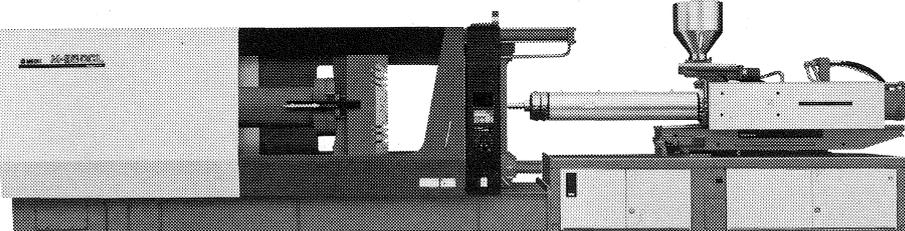
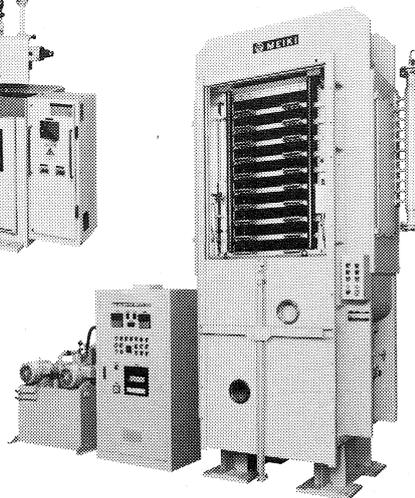
DVD専用機



ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク(DVD)射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。

IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機

 株式会社 名機製作所

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111(代)
中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>47-2391(代)
岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎<058>247-2674

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 千100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

くらしのこだわり...

**HOME &
HOME**
-RISU BASIC-

リス株式会社
croissant®



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つの Point

ポイント
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社